

川島町消防団だより

第八号

川島町消防出初式

平成31年1月5日(土)、川島町役場において、川島町消防出初式が挙行されました。出初式では、川島町消防団と消防署及び埼玉県防災航空隊による消防部隊訓練を実施し、災害現場からの救助等の訓練を披露しました。また、とねがわ幼稚園の幼年消防クラブによる鼓笛や角泉囃子連の皆さんによる獅子舞も披露され、会場を盛り上げました。最後には、川島町消防団全6分団と梯子車による一斉放水が行われ、1年間の川島町の安全安心を祈願し、出初式を締めくくりました。



消防ポンプ車操法認定審査会

平成30年6月3日(日)、埼玉県中央防災基地において、第20回埼玉県消防協会川越支部消防ポンプ車操法認定審査会が行われました。消防ポンプ車操法とは、消防ポンプ車を使って消火活動を行うための操作要領で、迅速な消火技術の向上、土気の高揚と組織力を養い、消防活動の充実強化を図ることを目的とした基本訓練であり、認定の審査基準としては、「規律」「迅速な行動、チームワーク」「確実な動作」「機械器具の精通と愛護」「安全性」などを総合的に評価し、「秀級」・「上級」・「中級」の認定をするものです。

審査会には、川島町・川越市消防団の全18分団が参加し、各分団とも猛暑や悪天候の中でも分団員一丸となって訓練に励んだ成果を発揮し、川島町第五分団が第1位、同第4分団が第2位という成績を収め、川島町消防団の全ての分団が「秀級」と認定されました。

なお、優勝した川島町消防団第五分団につきましては、川越支部の代表として平成30年8月4日(土)に行われた第30回埼玉県消防操法大会に出場し、全14チーム中5位に入賞し、優良賞を受賞するというすばらしい成績を残しました。

今後もポンプ操法同様、団員の結束力をさらに深め、消防団活動に取り組んでまいります。

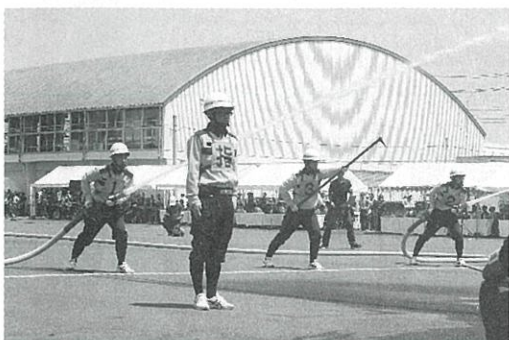
団長から一言

過日開催されました、認定審査会におきまして、川島町消防団は、全分団が秀級を達成できました。また、第五分団が県大会に出場し5位入賞の成績を修めることができました。大会出場に際しご指導頂いた地域の皆様をはじめ多くの方々の激励や応援を頂きましたことに厚く感謝申し上げます。ありがとうございます。



川島町消防団団長

小川 敏晴



女性消防団員の活躍

平成30年7月7日(土)埼玉県消防協会第2ブロック連絡協議会女性消防団員研修会が、川越市内のラ・ボア・ラクテで行われました。川島町女性消防団は、活動発表としてパネルシアター「救急戦隊まもるんじゃー」を披露しました。パネルシアターとは、幼稚園や保育園の教材として使われており、絵を貼ったり動かしたりして物語を演じるものです。今回は、そのパネルシアターを使い火災予防などを小さな子供にも覚えやすいようにアレンジしました。また、「119番」「消火器」「住宅用火災警報器」「消防車」「救急車」「AED」を川島町オリジナルのヒーローにしそれぞれの役割を分かりやすく紹介しています。

この研修会に参加された他支部の女性消防団員から大変好評であり、多くの貴重なご意見をいただきました。そして、活動発表の準備を進める中で様々な意見を交わし仲間との絆をより深めることができました。これからも「救急戦隊まもるんじゃー」と一緒に、火災予防の大切さを伝えていきたいと思えます。



ちびっこフェスティバル

平成30年5月5日(土)、川島町下八ツ林にある平成の森公園においてちびっこフェスティバルが開催されました。川島町消防団もブースを設けさせていただきました。

日用品を使った即席担架の作り方や地震体験車、煙の案内を行いました。当日は大勢の方に緊急時の対応体験していただきました。



ボウリング大会

川島町消防団は、各分団の団員同士が交流を深め、災害時における活動をより円滑なものとするために、平成30年11月18日、IVY BOWL北本において、第5回川島町消防団ボウリング大会を開催しました。消防署、団本部、各分団がそれぞれ代表選手を選出し、団体戦と個人戦を行いました。団体戦では上位3チームが1ピン差という接戦を見事第四分団が制しました。第四分団黒圖副分団長コメント

選手の団結力で掴んだ勝利だと思います。

ボウリング大会は入団して間もない団員も参加しやすく、良い交流の機会となりました。今後交流の場を増やしていきたいと思えます。



新入団員紹介

今年度入団した団員9名を紹介します。

野沢団員(団本部)



川島町に貢献したくて入団しました。

神田団員(第二分団)



微力ながら川島町の消防団活動に貢献し、頑張りたいです。

大滝団員(第二分団)



これから消防団員として団の先輩方と一緒に頑張りたいと思えます。

笹木団員(第二分団)



川島町のために頑張ります。

高橋団員(第三分団)



地域に貢献できるよう、一生懸命頑張ります。

庄司団員(第四分団)



町・地域の為、少しでも力になれるよう頑張っていきたいと思えます。

神田団員(第四分団)



地域との繋がりを深めるために入団しました。

福島団員(第六分団)



お世話になった地域の方々に少しでも恩返しが出来ればと思入団を決めました。

比留間団員(第六分団)



消防団の仕事に早く慣れて地域のために頑張りたいと思えます。